



医学部附属地域医療活性化センター、18日に開所記念式典

神戸大学広報室
078-803-5083

神戸大学医学部附属地域医療活性化センター（センター長 神戸大学大学院医学研究科 杉村 和朗教授）（以下、本センター）が医学部西側（神戸市兵庫区荒田町2-1-5）にこのほど完成し、4月18日（金）午後4時から開所記念式典を催しますのでお知らせします。

（午後4時 テープカット 午後4時15分から開所式）

本センターは、医師等の医療従事者の地域による偏在の解消が喫緊の課題になっている中、神戸大学と兵庫県とが連携して、医師をはじめとした、医療を担う人材に対して、卒前から卒後に至る一貫した教育研修を実施することにより、県内における地域医療に不可欠な医療従事者の養成を図り、地域医療を活性化することを目的に建設されました。

建物は、鉄骨地上3階・地下1階で延べ3,393平方メートル。地下1階に先端外科医療・内視鏡トレーニングセンター、臨床基本技術トレーニングセンター、1階に本センター受付及び事務室、2階に研修室、3階に病理診断技術トレーニングセンター、遠隔画像診断支援センターなどが新設されており、県内の医療機関に勤務する医師及び医師以外のメディカルスタッフのスキルアップに貢献する教育プログラムを実践して参ります。

また、本センター内には兵庫県地域医療支援センターが併設され、県養成医及び兵庫県からの奨学金貸与を受けた県養成医学生（地域特別卒学生）等、兵庫県内のへき地を含めた地域病院に赴任する医師等に対して、本センターと連携して卒前・卒後を通じた支援を行い、医師等の偏在の解消を図っていきます。

※会場準備等の都合上、開所式典当日の取材を希望される報道各社様は、お手数ですが、事前に医学部総務課研究科総務係（078-382-5015）までご連絡ください。

※会場には駐車場がありませんのでご注意ください。